



しおかぜ通信

八代市立郡築小学校
校長 村嶋 博史



郡築小ホームページ

学校教育目標「自ら学ぶ子供」 R8,5,21 No.7

「振り返って一礼」感謝の気持ちを伝えています

最近、多くの子供が、「おはようございます」と元気のよい明るい声であいさつをして校門をくぐります。また、横断歩道を渡り終えたときに、振り返って「ありがとうございます」と言いながらお辞儀する子供も多くいます。

この「振り返ってのお礼」は、本校の伝統となりつつあります。最近では、上級生が行っている姿を見てのことだと思いますが、1年生の中にも、振り返って「ありがとうございます」とお辞儀する子供が出てきました。この高め合う集団の姿を見て、胸が熱くなりました。

この効果について考えてみたところ、「感謝の習慣化という教育的価値」の他、「地域に見守られる関係性の構築」や「ドライバーの安全意識の高揚」などがあるのではないかと考えました。



- 「感謝の習慣化という教育的価値」：「止まってもらって当たり前」ではなく、誰かの配慮に気づき、それを形にする練習になります。幼い頃からこの習慣が身についていると、交通ルールだけでなく、社会の中でのコミュニケーション能力も自然と育っていくものと思います。
- 「地域に見守られる関係性の構築」：何度も顔を合わせる通学路などで続けていると、通勤などで通るドライバーや近隣のドライバーに顔を覚えてもらえます。そして、「あの子はいつも丁寧だな」という印象が、地域全体で子供を見守る空気感をつくることにつながると思います。
- 「ドライバーの安全意識の高揚」：小さな子供が丁寧にお礼をする姿を見ると、ドライバーは「この子供の安全をしっかり守らなきゃ」と、いつも以上に身が引き締まるものです。その場の緊張感だけでなく、その後の運転もより優しくなるきっかけになります。

今後も、認め・褒め・励ます中で、主体的に「振り返ってお礼をする」子供を育てていきたいと思えます。ご家庭でも、お子様が横断歩道を渡った際に、振り返って一礼したときには、ほめてください。

外遊びで体力向上!

最近、昼休み時間に運動場で遊んでいる子供が増えています。

今年度より、毎朝、体育委員会の子供が、運動場にドッチボールコートラインを引いています。その甲斐あって、最近ではドッチボールをして遊んでいる子供が増えています。

ドッチボールを続けると、投てき力(腕力)や瞬発力(敏捷性)、調整力(バランス感覚)などの体力の他、動体視力や空間認知力、状況判断力などの感覚・認知能力、さらにはチームワーク(団結力)やコミュニケーション力などの社会性・協調性も向上します。

本校では、子供たちが、徒歩通学や外遊び、清掃活動などの日常生活を通して、主体的に体力向上に取り組むことを奨励(前号で紹介した「目指せ!体力王」の取組)しています。体力の向上は、健康や粘性・耐性、学力などの向上に繋がります。ご家庭でもご支援よろしくお願ひします。



朝の光の中で、心に花を咲かせる



「おはようございます!」と元気な声が響く朝の校門。登校してきたある児童が、ふと校門横の花壇の前に止まり、先日植えた植物に花がついたことに気づき、「きれい〜」とつぶやきました。

朝の登校では、つい先を急いでしまいがちですが、命の輝きや季節の移ろいに気づき、その感動を素直に言葉にできる。これは、この子供の心がとても健やかで、豊かである証拠だと感じ、胸が熱くなりました。

フランスの画家マティスは、「見たいと思う人には、いつでもどこにでも花は咲いている」という言葉を残しています。幸せや美しさは、遠くにあるのではなく、私たちの「気づく心」の中にあります。

校門横の花壇に咲く花を見て「きれい」と言える。そんな瑞々しい感性をもった子供たちが通うこの学校を誇りに思います。ご家庭でもぜひ、登下校や散歩の道すがらで見つけた「小さな春」について、お子様と対話してみてください。